

季刊

唯物論研究協会編集

# 思想と現代

特集

●〈文明批判〉としての  
家族・子ども・老人

1989

20号

〈座談会〉

〈文明批判〉としての家族・子ども・老人

山田太一／浅野富美枝／津田雅夫

批判の原点としての「親密圏」……佐藤和夫

現代文明と家族コミュニケーション

人生、老境、そして死……成瀬龍夫

性別役割分業意識を越えた家庭を……仲本章夫

現代の子どもの「受苦」から新たな共同へ……村越洋子

中山一樹

中山一樹

発売元

白石書店

亀山純生 ● 著

〔青木教養選書〕 ¥2200

# 人間と価値

豊かな現代社会のロビンソン・クルソーはどう生きるか―世間の「あたりまえ」の道徳・倫理や価値観を問い直し、人間的な生活への視座をさぐる。

山田 洸 ● 著

¥2200

# 戦後思想史

敗戦から80年代までの現代日本思想通史。戦後45年、日本人は何を考へ、どのように生きてきたか。思想史からみた現代日本の到達点を大胆に提示。

芝田進午 ● 著

¥1700

# 人生と思想

核問題、バイオ問題など、困難な現代を生きるための思想とはなにか。現代人は、なぜ学問をまなび、哲学と思想を習得しなければならないか―

竹村英輔 ● 著

¥2320

# 現代史における グラムシ

グラムシが今日の哲学・思想情況に問いかけるものは？

青木書店

東京都千代田区神田神保町1-60 ☎03-292-0481 (価格は税別です)

# 象徴天皇制

## —その思想的考察—

唯物論研究協会編

象徴天皇制——この特異な制度は、国民の思想・文化にどのような影響を及ぼしているのか、国民の立場を堅持しながら、その基礎・構造・機能を分析する。来年行なわれる“大嘗祭”を目前に、国民一人ひとりが、真の主権者にふさわしく、思想的に自立し威厳ある個人になるには何が必要かを明らかにする。 定価 1854円

千代田区神田  
神保町1-28

白石書店

☎ 03(291)7601  
振 東京2-16824

# 季刊 思想と現代

1989年12月  
第20号

唯物論研究協会編集

発売元 白石書店

目次

特集 〈文明批判〉としての家族・子ども・老人 〈座談会〉 〈文明批判〉としての家族・子ども・老人 ……………山田太一／浅野富美枝／司会・津田雅夫	3
批判の原点としての「親密圏」……………佐藤 和夫	26
現代文明と家族コミュニケーション……………成瀬 龍夫	41
人生、老境、そして死……………仲本 章夫	51
——高齢者問題と哲学—— 性別役割分業意識を超えた家庭を……………村越 洋子	62
現代の子どもの「受苦」から新たな共同へ—— ——「登校拒否」問題から見えてくるもの——……………中山 一樹	75
◆ぶっく・えんど 「人間らしく生きる」ことと現代社会……………武田 一博	86
〈シリーズ 現代科学から人間像〉 分子生物学・生命・人間……………宗川 吉汪	91
〈文化時評〉 科学・SF・「SF宗教小説」……………高田 求	102
〈もう一つの思想家像〉 「腰を沈める」思想家 中井正一……………吉田 千秋	111
〈書評〉 浅野富美枝著『女性論の森へ—女性・家族・民主主義—』 ……………杉田 聡	122
亀山純生著『人間と価値』……………渋谷 治美	124
岩崎・フィードラー・ベーニッシュ編『弁証法と現代』……………有尾 善繁	125
岩崎允胤編『文化の現在』……………伊藤 宏一	126
尾関周二著『言語的コミュニケーションと労働の弁証法—現代社会と 人間の理解のために—』……………河野 勝彦	128
〈読書ノート〉 アラン・ブルーム『アメリカン・マインドの終焉』……………清 真人	130
〈前号批判〉 君主制論議私注——思想と“écriture”との間柄 ……………鈴木 正史	136
『思想と現代』総目次（創刊号～第19号）……………	140

編集後記

装幀 フレッシュ…アップ…スタジオ渋谷泰彦